



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 コムチュア株式会社  
 コード番号 3844 URL <http://www.comture.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 向 浩一  
 (氏名) 細川 琢夫

TEL 03-5745-9700

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,040	16.2	760	5.3	772	4.1	471	4.8
26年3月期第3四半期	6,059	15.7	722	46.5	742	45.1	449	41.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 473百万円 (6.7%) 26年3月期第3四半期 444百万円 (36.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	88.33	87.77
26年3月期第3四半期	85.05	83.84

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,907	3,442	70.1
26年3月期	4,800	3,232	67.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,439百万円 26年3月期 3,228百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	16.00	—	26.00	42.00
27年3月期	—	24.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	22.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	18.0	1,150	12.2	1,155	10.7	681	10.6	127.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	5,342,100 株	26年3月期	5,329,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	81 株	26年3月期	81 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	5,336,052 株	26年3月期3Q	5,286,286 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減、輸入物価の上昇などの影響で消費者マインドに弱さが見られます。一方、設備投資、企業収益はともにおおむね横ばいとなっていますが、大企業製造業では改善の動きもみられます。また、雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いています。

国内IT市場においては、2014年の国内IT市場規模は、14兆4,352億円、前年比成長率は0.4%と予測されています（IDCジャパン2014年11月）。このうち国内ITサービス市場は、5兆1,720億円で対前年2.8%増が見込まれ、金融機関でのシステム統合案件の継続やマイナンバー制度にかかわる投資、およびクラウドやモバイルなどの第3のプラットフォームにかかわる投資がけん引役になると見られています。

当社グループにおきましては、このようなビジネス環境の中、「クラウド&モバイル」テクノロジーを中心に4つの分野（グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業及びネットワークサービス事業）での事業を推進し、かつ先進化に向けて取り組んでまいりました。また、同時に高付加価値化の追求、生産性向上と高品質への取り組みも継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

売上高	7,040百万円	（前年同四半期比 16.2%増）
営業利益	760百万円	（前年同四半期比 5.3%増）
経常利益	772百万円	（前年同四半期比 4.1%増）
四半期純利益	471百万円	（前年同四半期比 4.8%増）

主に高い市場成長率を示すクラウド事業の拡大及び金融分野事業での受注拡大等、大規模ユーザからの大型受注も含めて、当社グループのビジネスは堅調に推移いたしました。利益面では、当社グループの最も重要視している継続的な高付加価値化戦略により一人当たり売上高が増大したことや、販管費率の改善などから、増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ソリューションサービス関連

当セグメントにおきましては、クラウド&モバイル市場の成長を背景とし、営業及びシステム構築現場の第一線にてお客様の要望や関心（ささやき）を吸い上げ、社内で知恵だしを行い、新たな提案・サービス（カタチ）にしてお客様に伝える「ささやきをカタチに」する活動を重点施策として実行いたしました。その結果、Salesforce.comを中心としたクラウドサービスの拡大及びネットバンキング等の金融系ビジネスの拡大により、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,355百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。営業利益については442百万円と、不採算案件の影響もあり対前年同四半期比では15.2%減となりました。

#### ② プロダクト販売関連

当セグメントにおきましては、新規顧客の獲得及びクラウドビジネスの拡大におけるSalesforce.comの販売が好調であったことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は109百万円（前年同四半期比25.6%増）、営業利益は44百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

#### ③ ネットワークサービス関連

当セグメントにおきましては、大規模ユーザからの受注増のほか、データセンタの運用ニーズ及びネットワーク基盤サービスに対する需要の高まりを受け積極的な事業展開をいたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,691百万円（前年同四半期比27.2%増）、営業利益は284百万円（前年同四半期比79.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて106百万円増加し、4,907百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が82百万円、のれんが13百万円、有形固定資産が13百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が111百万円、有価証券が100百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて103百万円減少し、1,464百万円となりました。これは主に、買掛金が93百万円、未払費用が51百万円それぞれ増加したものの、未払法人税等が221百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べて210百万円増加し、3,442百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、剰余金の配当による減少があったものの四半期純利益により増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(平成26年5月12日公表)で発表いたしました数値から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,354,320	2,465,598
受取手形及び売掛金	1,348,359	1,265,547
有価証券	-	100,652
仕掛品	59,408	83,200
その他	186,615	186,399
流動資産合計	3,948,703	4,101,398
固定資産		
有形固定資産	285,713	271,941
無形固定資産		
のれん	51,121	37,179
その他	9,625	7,510
無形固定資産合計	60,746	44,689
投資その他の資産		
投資有価証券	241,419	238,006
差入保証金	166,290	155,521
その他	97,487	95,488
投資その他の資産合計	505,197	489,016
固定資産合計	851,657	805,647
資産合計	4,800,361	4,907,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	551,529	644,703
未払費用	162,323	213,498
未払法人税等	314,398	92,408
賞与引当金	176,091	9,351
役員賞与引当金	20,100	20,467
工事損失引当金	68,423	-
その他	137,535	329,288
流動負債合計	1,430,400	1,309,719
固定負債		
資産除去債務	55,760	52,401
その他	81,856	102,109
固定負債合計	137,617	154,511
負債合計	1,568,017	1,464,230
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	323,184	1,016,485
資本剰余金	263,184	265,385
利益剰余金	2,626,617	2,140,151
自己株式	△38	△38
株主資本合計	3,212,947	3,421,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,448	17,886
その他の包括利益累計額合計	15,448	17,886
新株予約権	3,946	2,909
少数株主持分	-	34
純資産合計	3,232,343	3,442,815
負債純資産合計	4,800,361	4,907,046



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,059,716	7,040,935
売上原価	4,650,775	5,549,600
売上総利益	1,408,941	1,491,334
販売費及び一般管理費	686,559	730,796
営業利益	722,381	760,538
営業外収益		
受取利息	9,704	9,798
受取配当金	294	15
複合金融商品評価益	-	652
投資有価証券償還益	13,212	-
その他	1,207	1,735
営業外収益合計	24,418	12,200
営業外費用		
事務所移転費用	4,796	548
その他	3	-
営業外費用合計	4,799	548
経常利益	742,000	772,191
特別利益		
投資有価証券売却益	3,875	-
特別利益合計	3,875	-
特別損失		
固定資産除却損	-	224
特別損失合計	-	224
税金等調整前四半期純利益	745,876	771,966
法人税、住民税及び事業税	296,289	300,639
少数株主損益調整前四半期純利益	449,587	471,326
少数株主利益	-	5
四半期純利益	449,587	471,321

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	449,587	471,326
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△5,470	2,437
その他の包括利益合計	△5,470	2,437
四半期包括利益	444,116	473,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	444,116	473,758
少数株主に係る四半期包括利益	-	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	ソリューションサービス 関連	プロダクト 販売関連	ネットワー クサービス 関連						
売上高									
外部顧客への 売上高	3,957	6	2,095	6,059	—	6,059	—	6,059	
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	80	20	107	—	107	△107	—	
計	3,963	86	2,116	6,167	—	6,167	△107	6,059	
セグメント利益	521	42	158	722	—	722	—	722	

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	ソリューションサービス 関連	プロダクト 販売関連	ネットワー クサービス 関連						
売上高									
外部顧客への 売上高	4,343	28	2,668	7,040	—	7,040	—	7,040	
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	80	22	115	—	115	△115	—	
計	4,355	109	2,691	7,156	—	7,156	△115	7,040	
セグメント利益	442	44	284	771	—	771	△10	760	

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額は、のれんの償却額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成27年1月26日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく当社定款及び同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主の皆様に対して積極的に利益還元を行う基本方針の一環として、当社の資本効率の向上のため、自己株式の取得を行うものです。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	550,100株(上限)
(3) 株式の取得価額の総額	1,001百万円(上限)
(4) 取得する期間	平成27年1月27日から平成27年2月24日まで
(5) 取得の方法	公開買付け